

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名	
代表者氏名	

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困 	○	②飢餓 	○	③保健 	○	④教育 	○	⑤ジェンダー 	○	⑥水・衛生 	
⑦エネルギー 		⑧経済成長・雇用 		⑨インフラ・産業化・イノベーション 		⑩不平等 		⑪持続可能な都市 		⑫持続可能な生産と消費 	
⑬気候変動 		⑭海洋資源 		⑮陸上資源 		⑯平和 		⑰実施手段 			

取組のタイトル

悩んでいる人の割合と相談先の提供

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

①ねらい

孤独に感じている人や、寂しさを感じている人が、学校にどれくらいいるのかどうか調べる。
また、電話などの相談窓口やフリースクール等を調べ学校の生徒に知ってもらう。

②動機

自分自身が、学校に行けなかった時期があり、その時に孤独を感じていたのでその経験を生かせないかと思ったから。また、そういった時に相談できるようなところや心の居場所になるようなところを知っていれば、そういった感情を持っている人が少しでも楽になるのではないかと考えたから。

③検証方法

1. アンケートを取る。
2. アンケートの結果を分析する。
3. 福島県、宮城県、山形県にあるフリースクール等、相談窓口を調べる。
4. （可能であれば）3で調べた場所に、取材に行く。
5. 4で調べた場所とアンケートの結果、自分の取り組みを学校の生徒に知ってもらう。

④計画

- 3月：詳細を決める。
- 4月：アンケートを取る。
アンケート募集期間終了
- 5月：アンケートの結果をまとめる。
福島県、宮城県、山形県にあるフリースクール等、相談窓口を調べる。
- 6月：5月に調べたことや、アンケートの結果についてまとめる。
- 7月：6月にまとめた事を学校の生徒に知ってもらう。
- 8月：まとめ（反省、感想等）

⑤取材詳細

名 称：特定非営利活動法人 With 優

郵便番号：992-0075

住 所：山形県米沢市赤芝町字川添 1884 番地

T E L：0238-33-9137

取 材 日：2023 年 6 月 3 日

代 表：白石 祥和(シライシ ヨシカズ)様にお話を聞いてきました。

⑥取材内容

Q. 週何回何時から何時までやっていますか。

A. 月曜日から金曜日、9 時から 17 時までやっています。

Q. 職員の方は何名ほどいらっしゃいますか。

A. フリースクールのほうだと常勤が 2 名、法人全体だと 13 名います。

資格のほうだと教員免許を持っているスタッフが一番多く、
臨床心理士やキャリアコンサルタント等の資格を持っているスタッフもいます。

Q. フリースクールに通っている生徒さんは何名ほどいらっしゃいますか。

A. 現在は約 20 名ほどいます。

Q. 生徒のみなさんは、週に何回ほど通っているんですか。

A. 週 2 回の子がほとんどです。

Q. 主に通っているのは小中学生中心ですか。

A. 高校生が多いですね。フリースクールを始めたころは小中学生を対象として考えていたのですが、
始めてみると高校生からのニーズ・相談が多かったので小中学生もおりますが、
高校生が中心のフリースクールになっています。

Q. フリースクールは主に不登校の方が利用しているって感じですか。

A. 高校生に関しては休学してる子とか、通信制高校に通っている子とかですかね。
高校を卒業した時に不登校傾向で、卒業したけど進学も就職もしてなくて
一緒に準備しているっていう子もいます。

Q. フリースクールに通っている生徒さんはいつもどのようなことをして過ごしていますか。

A. それぞれ取り組みたいことに相談して取り組み、それをスタッフがサポートしています。
昼夜逆転している子もいるので中には寝てる子もいたりすることもあります。・
通信制高校に行っている子はレポートに取り組んだりしています。
その他には大学受験や高卒認定試験の資格取得のために勉強している子もいます。

Q. 課外授業や遠足のようなものはありますか。

A. あります。修学旅行やボランティア、地域清掃、農業体験、学校見学、
職場見学などもやっています。

Q. 生徒さんの心のケアという面ではどういったことをしていますか。

A. 1 回 1 時間っていう時間を決めて個別での面談をやっています。
そのためこちらで相談するってことに対しての研修を受けています。

Q. 生徒さんの保護者の方とはどういった連携をとっているんですか。

A. 必要に応じて個別に面談させていただくことはあります。
その他には、保護者会っていうのを定期的にやっています。
保護者会をすることで保護者同士が繋がれるっていう部分が一番大きいです。

Q. フリースクールに入る前に体験に来る方は結構いらっしゃるんですか。

A. います。うちでは 2 日間の無料体験を実施しています。
体験に来る方の中でも入ってくださる方は結構多いですね。

Q. どういった理念等を持って活動していますか。

A. 地域で子供を支える環境を作るっていうのを理念にしています。

Q. 市や県との連携などはありますか。

A. あります。

入札事業やプロポーザル等、行政が取り組むべき課題の中で専門的な経験や技術を有するものを民間に委託しているので、そのような事業を受けて、行政と一緒にそのような地域課題に取り組むことは多いです。

⑦結論

アンケートで分かった通り相談窓口などを知っているのに利用できている人が極端に少なかったの
で利用しやすくするためには、SNS 等でこういった活動をしているか発信していくことが重要である
と思う。

調べてみると SNS 等で活動の様子などを発信しているフリースクール等は多くあった。
できるだけ多くの人に知ってもらうには市町村、県などと協力していくことが大切である。
市町村、県は現状として住所、連絡先のみしか発信していないところがほとんどである。
不登校の児童が増えているなか市町村、県と協力することでより利用しやすく相談しやすい環境に
することができると思う。

⑧反省

- ・この活動をするにあたって専用のノートにまとめた方が効率が良かった。
- ・何らかの形で他のコースの生徒にもアンケートを取り、結果を知ってもらえれば
より良い活動になった。
- ・アンケートを取る際締め切り日を記載するのを忘れてしまった。
記載していればもっとよりたくさんの方に答えていただけたかもしれない。

⑨考察

私が今回の活動を通して学んだことは、人と関わる事の大切さです。
相談窓口、フリースクール等を私が知ることができたのは、それらを裏で調べてくださった県の職員
の方や、お忙しい中取材の時間を取ってくださった With 優のみなさんがいたからであると思ってい
ます。上に挙げた方々の他にも、アンケートにご協力してくださった皆さんがいたからこそ現状を知
ることができました。この活動にご協力してくださったすべての方のおかげで、上にも記載した通り
人と関わる事の大切さや人のありがたみを感じることができました。また、この活動を通してこれ
からの目標を明確にすることができました。

改めて、この活動にご協力してくださったすべての方々に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

⑩SDGs のゴールへの貢献

3 の「すべての人に健康と福祉を」の心の面で誰もが悩みを相談できる社会にする。
心の居場所（子ども食堂など）を知ってもらうことで、気軽に悩みを相談できる環境をつくる。
また、子ども食堂を知ってもらうことは、1 の「貧困をなくそう」や、
2 の「飢餓をゼロに」につながる。

相談することで、貧しくて勉強道具を買うことができない人達が質の高い教育をうけることが
できる。(4. 質の高い教育をみんなに)

そして LGBT で悩んでいる方々がじぶん自信を表現できる第一歩となる。(5. ジェンダー平等を実現し
よう)